

2023年度「世界バプテスト祈禱週間」について

主の尊いみ名を賛美いたします。

残暑もいくぶん和らぎ、しのぎやすい日も多くなってまいりました。皆さまにおかれましては、日々福音宣教の業にお励みのことと存じます。今年度も「世界バプテスト祈禱週間」のポスターをお届けいたします。毎年、この働きを祈りに覚え、また献金をおささげくださり心より感謝いたします。今年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日は目標額や用途について、少しご説明をさせていただきたく思います。

今年度の目標額は「2,800 万円」。この金額は昨年度の実績、そして現在の諸教会・伝道所の少子高齢化による女性連合会員の減少、また新型コロナもまだ続く中、諸教会・伝道所の女性会(またはそれに準ずる会)の例会や推進活動が難しい状況を鑑み、このようにいたしました。

- ・ 献金の用途については、連盟の「国外伝道」「国内伝道」の働き、そして、女性連合が国外にあって繋がりをいただいている7つの団体への支援、また、自然災害や人道支援のために用いられる「国際緊急支援」「調査・育成費」「国外協力積立金」を掲げることを目標額とともに、昨年度の女性連合総会(書面)の前に行われた議案説明懇談会を経て、決議されたものです。
- ・ 今回特筆すべきことは、「調査・育成費」に若い世代の育成に加えて「全国小羊会キャンプ・リーダー研修会」の運営費を加えたことです。このキャンプは第一回より主題を「世界伝道」として開催してきました。子どもたちの信仰が養われ、主の働き人として献身し、「世界伝道」に携わる者となるよう祈りつつこの働きをすすめています。来年3月には、4年ぶりに静岡・御殿場にある東山荘において対面での「全国小羊会キャンプ・リーダー研修会」を開催する予定です。詳細は後ほどお送りいたしますので、ぜひご検討ください。
- ・ 「国外協力積立金」については、これまで積み立てられてきたものもありますが、国際大会への代表者参加費用や支援先への交流プログラムのサポート、また短期ボランティアなど献身の思いが与えられたメンバーにサポートができるよう整えていきたいと考えました。
- ・ 「世界バプテスト祈禱週間」で覚えております野口日宇満・野口佳奈インドネシア派遣宣教師、佐々木和之国際ミッション・ボランティア、また7つの支援団体などの報告につきましては、『世の光』をお読みください。とくに10月号は「世界バプテスト祈禱週間プログラム」が掲載されており、推進活動にお役にたてれば幸いです。今年度から『世の光』はweb版でも購読できるようになりました。女性連合ホームページよりご覧いただくことができます。ぜひ、一度ご覧ください。

女性連合は、2023年2月に自主自立をして50周年を迎えました。

女性連合は1971年、自給独立に伴う連盟の機構改革に際して、当時の諸先輩方が祈りの中で大きな決断をし、1973年2月に自主自立し歩み出しました。来月10月19日～21日には、福岡・西南学院大学チャペルにて、第51回総会に合わせ50周年記念大会をいたします。これまで主の先立ちと導きの中を歩んで来られたことに感謝しつつ、新たな一步を踏み出す時となればと願っております。

そしてこれからも多岐にわたる主の働きを進めていくために、ぜひ皆さまにも女性連合への加盟をご検討いただければ幸いです。

末筆ながら、みなさまの日々の歩みの上に、主の豊かな祝福がありますよう、心からお祈りいたします。

主にあり



て

2023 年 9 月 13 日

日本バプテスト女性連合会長 吉高 路